

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]

5. 人口・産業及び景観・観光

5.1 人口・世帯数

当圏域の行政区である松江市の総人口は、平成17年の国勢調査において196,603人となっている。昭和初期以降、人口は増加を続けていたが、平成12年をピークに減少（H12～17の減少率1.35%）に転じている。

年齢階層別の人口をみると、出生率の低下や平均寿命が伸びたことに伴い、15歳未満の年少人口割合の低下と65歳以上の老年人口割合の上昇が続き、平成17年には年少人口が13.8%（27,182人）、生産年齢人口が63.5%（124,793人）、老年人口が22.3%（43,849人）となっており、少子高齢化が進行している。平成17年の老年人口割合については、島根県平均の28.0%を下回っているが、全国平均の21.0%を上回っている。

世帯数は増加傾向にあるが、1世帯当たりの人員は減少傾向にあり、核家族化が進行している。人口及び世帯数の推移を表5-1～5-2、図5-1に示す。

表5-1 人口・世帯数の推移

	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年	
	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
松江市	189,519	58,462	191,850	61,298	195,353	66,639	199,289	72,189	196,603	73,717

出典：島根県統計情報データベース

表5-2 人口増加率

	S60～H2	H2～H7	H7～12	H12～17
松江市	1.23%	1.83%	2.01%	-1.35%



松江市
図5-1 人口・世帯数の推移

付・19

[付属資料]

5. 人口・産業及び景観・観光

5.1 人口・世帯数

当圏域の行政区である松江市の総人口は、平成22年の国勢調査において194,258人となっている。昭和初期以降、人口は増加を続けていたが、平成12年をピークに減少（H12～17の減少率1.35%、H17～H22の減少率1.19%）に転じている。

年齢階層別の人口をみると、出生率の低下や平均寿命が伸びたことに伴い、15歳未満の年少人口割合の低下と65歳以上の老年人口割合の上昇が続き、平成22年には年少人口が13.4%（25,543人）、生産年齢人口が61.9%（118,208人）、老年人口が24.8%（47,363人）となっており、少子高齢化が進行している。平成22年の老年人口割合については、島根県平均の29.1%を下回っているが、全国平均の23.0%を上回っている。

世帯数は増加傾向にあるが、1世帯当たりの人員は減少傾向にあり、核家族化が進行している。人口及び世帯数の推移を表5-1～5-2、図5-1に示す。

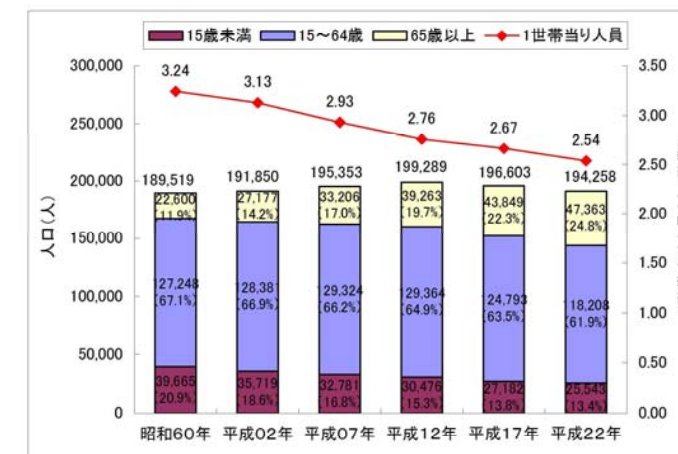
表5-1 人口・世帯数の推移

	昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年		平成17年		平成22年	
	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)	人口 (人)	世帯数 (世帯)
松江市	189,519	58,462	191,850	61,298	195,353	66,639	199,289	72,189	196,603	73,717	194,258	76,457

出典：島根県統計情報データベース

表5-2 人口増加率

	S60～H2	H2～H7	H7～12	H12～17	H17～22
松江市	1.23%	1.83%	2.01%	-1.35%	-1.19%



松江市
図5-1 人口・世帯数の推移

付・19

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]

5.2 産業構造

当圏域の行政区である松江市の産業就業者数をみると、総人口の増減と連動する形で、平成 12 年までは増加を続けていたが、平成 17 年には減少に転じている。産業分類別にみると、第 1 次・第 2 次産業就業者の割合が減少、第 3 次産業就業者数の割合が増加しており、島根県平均と比較してもその傾向は強い。

産業別就業者数及び構成率の推移を表 5-3、図 5-2 に示す。

表 5-3 産業別就業者数

年次	産業分類	松江市			島根県		
		総数 (人)	産業別 (人)	構成率 (%)	総数 (人)	産業別 (人)	構成率 (%)
昭和 60 年	第 1 次産業	93,343	11,567	12.4	414,268	80,479	19.4
	第 2 次産業		20,952	22.4		125,028	30.2
	第 3 次産業		60,733	65.1		208,585	50.4
平成 2 年	第 1 次産業	95,279	9,060	9.5	402,557	62,891	15.6
	第 2 次産業		22,029	23.1		126,264	31.4
	第 3 次産業		64,023	67.2		213,033	52.9
平成 7 年	第 1 次産業	100,001	8,016	8.0	406,463	55,667	13.7
	第 2 次産業		22,550	22.5		123,299	30.3
	第 3 次産業		69,205	69.2		227,066	55.9
平成 12 年	第 1 次産業	100,616	6,196	6.2	389,849	40,896	10.5
	第 2 次産業		21,889	21.8		112,631	28.9
	第 3 次産業		72,001	71.6		234,762	60.2
平成 17 年	第 1 次産業	95,728	5,499	5.7	368,957	37,109	10.1
	第 2 次産業		18,323	19.1		93,085	25.2
	第 3 次産業		70,855	74.0		236,524	64.1

出典：島根県統計情報データベース

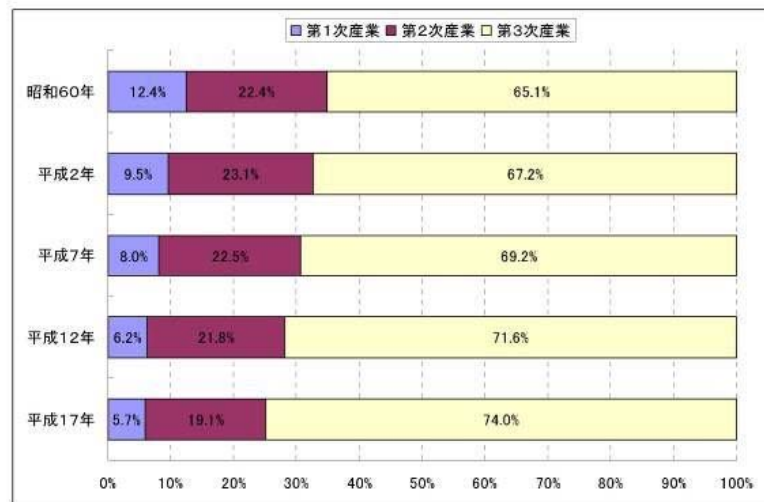


図 5-2 産業別就業者構成率の推移

付・20

[付属資料]

5.2 産業構造

当圏域の行政区である松江市の産業就業者数をみると、総人口の増減と連動する形で、平成 12 年までは増加を続けていたが、平成 17 年以降は減少に転じている。産業分類別にみると、第 1 次・第 2 次産業就業者の割合が減少、第 3 次産業就業者数の割合が増加しており、島根県平均と比較してもその傾向は強い。

産業別就業者数及び構成率の推移を表 5-3、図 5-2 に示す。

表 5-3 産業別就業者数

年次	産業分類	松江市			島根県		
		総数 (人)	産業別 (人)	構成率 (%)	総数 (人)	産業別 (人)	構成率 (%)
昭和60年	第1次産業	93,343	11,567	12.4	414,268	80,479	19.4
	第2次産業		20,952	22.4		125,028	30.2
	第3次産業		60,733	65.1		208,585	50.4
平成2年	第1次産業	95,279	9,060	9.5	402,557	62,891	15.6
	第2次産業		22,029	23.1		126,264	31.4
	第3次産業		64,023	67.2		213,033	52.9
平成7年	第1次産業	100,001	8,016	8.0	406,463	55,667	13.7
	第2次産業		22,550	22.5		123,299	30.3
	第3次産業		69,205	69.2		227,066	55.9
平成12年	第1次産業	100,616	6,196	6.2	389,849	40,896	10.5
	第2次産業		21,889	21.8		112,631	28.9
	第3次産業		72,001	71.6		234,762	60.2
平成17年	第1次産業	95,728	5,499	5.7	368,957	37,109	10.1
	第2次産業		18,323	19.1		93,085	25.2
	第3次産業		70,855	74.0		236,524	64.1
平成22年	第1次産業	92,693	4,061	4.4	347,889	28,816	8.3
	第2次産業		16,549	17.9		81,235	23.4
	第3次産業		68,561	74.0		227,870	65.5

出典：島根県統計情報データベース

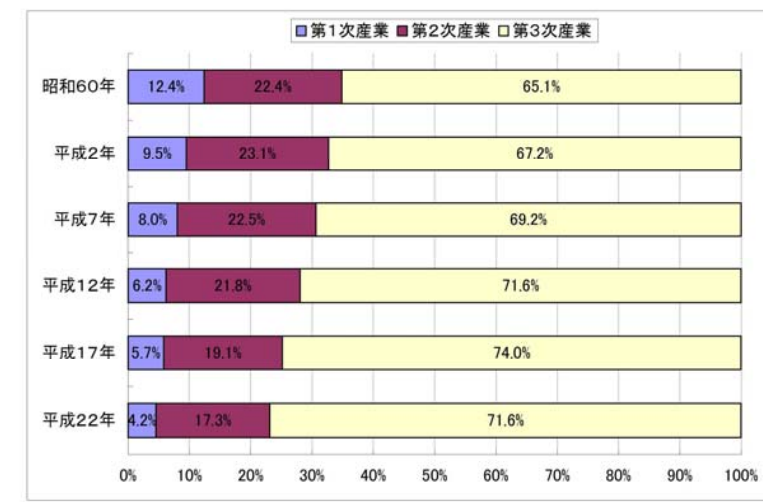


図 5-2 産業別就業者構成率の推移

付・20

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]

5.3 景観

松江市は山陰地方の中央に位置し、宍道湖、中海、日本海と島根半島のリアス式海岸や、その背景となる山々の緑などの美しい自然景観、古代出雲文化発祥の地あるいは「古事記」「日本書紀」「出雲風土記」などにのる日本神話のふるさとという歴史性に裏付けられた歴史的景観、城下町、宿場町、農山村、漁村など人びとの生活に根ざした文化的景観、また、国際文化観光都市、山陰の中核都市として活力と魅力ある都市景観など、人びとの生活と自然環境との調和により長い年月をかけて形成されてきた全国に誇れる景観資源を有している。

松江市では、景観に関する総合的な法律である景観法（平成16年6月18日法律第110号）に基づき、「松江市景観計画」を策定している。松江市景観計画は、景観法に基づく景観形成の方針や基準などを示すものであり、松江市全域を「景観計画区域（松江市景観計画区域）」として定め、ゆるやかな規制、誘導を行うとともに、松江城周辺や宍道湖周辺など、重点的に景観形成を図るべき区域を「景観計画重点区域（伝統美観保存区域、宍道湖景観形成区域、北堀町景観形成区域）」として定め、よりきめ細やかな基準により規制・誘導を図っている。

(1) 松江市の骨格となる景観

松江市景観計画では、松江市の骨格となる景観として、3つの景観ゾーンと2つの景観軸を設定している。



図 5-3 松江市の骨格となる景観 出典：松江市景観計画

[付属資料]

5.3 景観

松江市は山陰地方の中央に位置し、宍道湖、中海、日本海と島根半島のリアス式海岸や、その背景となる山々の緑などの美しい自然景観、古代出雲文化発祥の地あるいは「古事記」「日本書紀」「出雲風土記」などにのる日本神話のふるさとという歴史性に裏付けられた歴史的景観、城下町、宿場町、農山村、漁村など人びとの生活に根ざした文化的景観、また、国際文化観光都市、山陰の中核都市として活力と魅力ある都市景観など、人びとの生活と自然環境との調和により長い年月をかけて形成されてきた全国に誇れる景観資源を有している。

松江市では、景観に関する総合的な法律である景観法（平成16年6月18日法律第110号）に基づき、「松江市景観計画」を策定している。松江市景観計画は、景観法に基づく景観形成の方針や基準などを示すものであり、松江市全域を「景観計画区域（松江市景観計画区域）」として定め、ゆるやかな規制、誘導を行うとともに、松江城周辺や宍道湖周辺など、重点的に景観形成を図るべき区域を「景観計画重点区域（伝統美観保存区域、宍道湖景観形成区域、北堀町景観形成区域）」として定め、よりきめ細やかな基準により規制・誘導を図っている。さらに、松江堀川や大橋川および剣先川等について景観重要公共施設として位置付けるとともに「大橋川景観形成計画」の策定を進め、大橋川の良好な景観形成を図ることとしている。

(1) 松江市の骨格となる景観

松江市景観計画では、松江市の骨格となる景観として、3つの景観ゾーンと2つの景観軸を設定している。

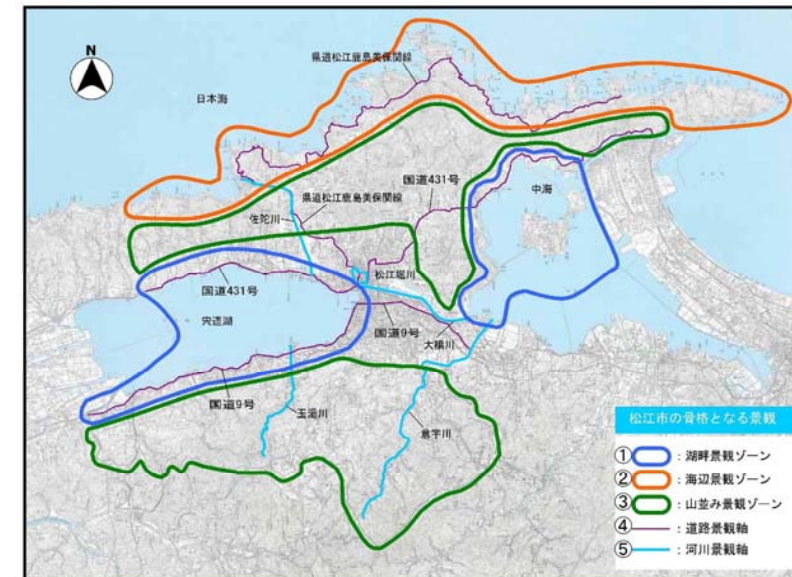


図 5-3 松江市の骨格となる景観 出典：松江市景観計画

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]

表 5-4 松江市の骨格となる景観

類型別景観	景観の概要
①湖畔景観ゾーン	宍道湖・中海に面する沿岸部で、朝日や夕日の美しい景観や湖水面の穏やかな広がりなど、市民に安らぎを与える松江固有の湖畔景観  夕日スポットから見る夕景  八東町から見た中海と大山
②海辺景観ゾーン	日本海に面した美しいリアス式海岸と海辺の雄大な自然景観を有した、島根半島の海岸一帯を占める海辺景観  関の五本松公園からの眺望  加賀の瀬戸
③山並み景観ゾーン	宍道湖・中海の北部に連なる北山山系と南部に連なる丸倉山、太平山をはじめとする山並みで、市街地の背景としても重要な景観資源である自然景観  嵩山を望む  枕木山を望む
④道路景観軸	宍道湖の南岸に面する国道 9 号、宍道湖・中海の北岸に面する国道 431 号、市街地から日本海沿岸を連絡する県道松江鹿島美保間線などの主要な道路  宍道湖沿いの国道 9 号  松江鹿島美保間線
⑤河川景観軸	宍道湖と中海をつなぐ大橋川、松江城周辺の松江堀川、また、山陰有数の玉造温泉街を貫流する玉湯川、日本海と宍道湖をつなぐ佐陀川、山間部から田園集落をぬけ中海に注ぐ意宇川などの主要な河川  大橋川と松江大橋  日吉切通し

出典：松江市景観計画

[付属資料]

表 5-4 松江市の骨格となる景観

類型別景観	景観の概要
①湖畔景観ゾーン	宍道湖・中海に面する沿岸部で、朝日や夕日の美しい景観や湖水面の穏やかな広がりなど、市民に安らぎを与える松江固有の湖畔景観  夕日スポットから見る夕景  八東町から見た中海と大山
②海辺景観ゾーン	日本海に面した美しいリアス式海岸と海辺の雄大な自然景観を有した、島根半島の海岸一帯を占める海辺景観  関の五本松公園からの眺望  加賀の瀬戸
③山並み景観ゾーン	宍道湖・中海の北部に連なる北山山系と南部に連なる丸倉山、太平山をはじめとする山並みで、市街地の背景としても重要な景観資源である自然景観  嵩山を望む  枕木山を望む
④道路景観軸	宍道湖の南岸に面する国道 9 号、宍道湖・中海の北岸に面する国道 431 号、市街地から日本海沿岸を連絡する県道松江鹿島美保間線などの主要な道路  宍道湖沿いの国道 9 号  松江鹿島美保間線
⑤河川景観軸	宍道湖と中海をつなぐ大橋川、松江城周辺の松江堀川、また、山陰有数の玉造温泉街を貫流する玉湯川、日本海と宍道湖をつなぐ佐陀川、山間部から田園集落をぬけ中海に注ぐ意宇川などの主要な河川  大橋川と松江大橋  日吉切通し

出典：松江市景観計画

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]

(2) 景観計画重点区域

①宍道湖景観形成区域

宍道湖は、周囲を松江市、出雲市、斐川町の2市1町に囲まれる面積約79km²、周囲長約47kmの汽水湖であり、全国で7番目の大きさである。時々刻々と姿を変える空の表情を映し出す宍道湖の湖面は美しく、北山山系、湖南山地の美しい山並みと一体性を成した宍道湖景観は、古代から培われ受け継がれてきたかけがえのない財産である。

また、小泉八雲など多くの人々が絶賛してやまない嫁ヶ島の夕日をはじめ、四季折々に表情を変える宍道湖の景観は松江市固有のものであり、水都・松江の象徴となっている。

一方、宍道湖は景観資源としてだけでなく、自然資源としても欠かすことのできない貴重なものであり、宍道湖北山県立自然公園として指定（1964年4月）されるとともに、ラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録（2005年11月）され、その環境の保全が図られている。



図 5-4 宍道湖景観形成区域 出典：松江市景観計画

[付属資料]

(2) 景観計画重点区域

①宍道湖景観形成区域

宍道湖は、周囲を松江市、出雲市、斐川町の2市1町に囲まれる面積約79km²、周囲長約47kmの汽水湖であり、全国で7番目の大きさである。時々刻々と姿を変える空の表情を映し出す宍道湖の湖面は美しく、北山山系、湖南山地の美しい山並みと一体性を成した宍道湖景観は、古代から培われ受け継がれてきたかけがえのない財産である。

また、小泉八雲など多くの人々が絶賛してやまない嫁ヶ島の夕日をはじめ、四季折々に表情を変える宍道湖の景観は松江市固有のものであり、水都・松江の象徴となっている。

一方、宍道湖は景観資源としてだけでなく、自然資源としても欠かすことのできない貴重なものであり、宍道湖北山県立自然公園として指定（1964年4月）されるとともに、ラムサール条約（特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約）に登録（2005年11月）され、その環境の保全が図られている。

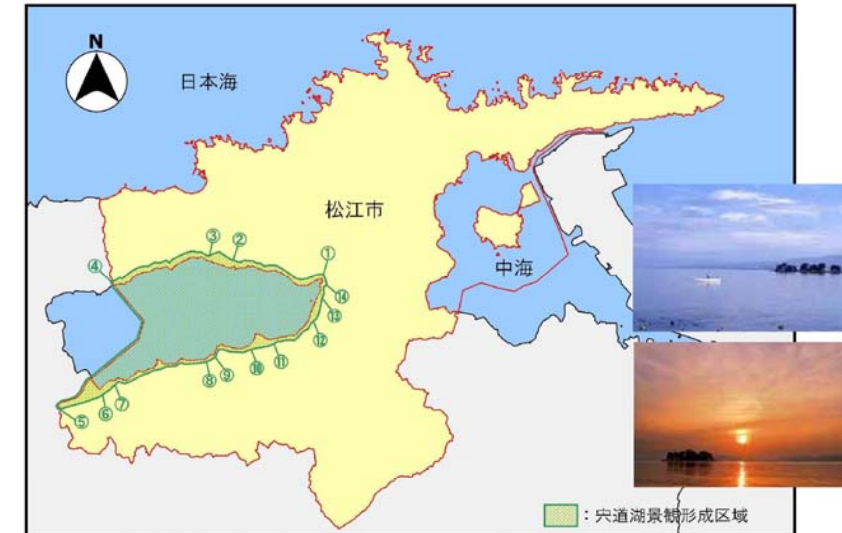


図 5-4 宍道湖景観形成区域 出典：松江市景観計画

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]

②伝統美観保存区域

松江市における往時の政治、経済及び文化の中心として歴史上の意義を有する建造物、遺跡等で形成された町並み景観や、周囲の自然的環境と一体を成して伝統と文化を具現、形成している歴史的・自然的景観を有する区域で、①塩見縄手地区、②普門院外濠地区、③城山内濠地区の3地区が指定されている。

表 5-5 伝統美観保存区域の概要

名称	概要
①塩見縄手地区 	塩見縄手は、もと亀田山（現城山）の北側にあり、築城工事の際、この部分の丘陵を掘り下げて内堀を造った時に、北側の山裾に道をつけ武家屋敷を配置したところである。寛永15（1638）年、堀尾氏、京極氏の後をうけて松平氏が松江城主となって以来、塩見氏という老職がここに居（現在の武家屋敷）を構えた地区である。このあたり一帯は、番頭、小姓、奉行などの武家屋敷が軒を連ねていた。松江市では昭和48（1973）年に松江市伝統美観保存条例を制定すると同時に、塩見縄手地区を第1次保存指定地区に指定。門、塀の復元、堀沿いの松の移植・補植、電線類の地中化工事などが行われてきた。今その面影は老松のあいだに静かなたたずまいを見せる武家屋敷の塀、内濠に投影する姿と、幾百年の歴史に裏付けされた重みをたたえている。また、四季を通じて変容する景観は美しく、武家屋敷、小泉八雲旧居及び記念館、田部美術館などが観光施設として立ち並び、塩見縄手沿いの堀川は堀川遊覧船の周遊ルートであるなど、重要な観光資源として松江市の個性と格式の高さを形成している代表的な景観のひとつである。
②普門院外濠地区 	普門院は、県文化財建造物の指定を受けるなど、この地区の景観形成上中心的役割を果たす重要な景観資源である。宗派は天台宗で、堀尾氏累代の祈願寺（旧市成村・現西川津町）であったが、一度寺町に移るも火災で消失、その後松平家三代綱近の時、現在地に建立された。山門を入ると芭蕉堂や三斎流の茶室観月庵が並びた佇まいをみせ、木々の緑や碑石が古い文化の面影を残す名刹である。普門院の境内地は堀川に囲まれた三角洲の中にあり、堀をへだてて松江城や北堀橋を望むことができる。また、普門院から見える堀川の川岸は、石積み護岸や木々の緑で城下町らしい落ち着いた景観を成している。昭和50（1975）年に、普門院周辺から宇賀橋までの堀川に面する両側の道路一帯が、普門院外濠地区として松江市伝統美観保存地区に指定され、普門院の塀の修理、松の補植、普門院堀の修理が行われた。
③城山内濠地区 	本地区は松江城の内濠を隔てた東側にあり、江戸時代の初めに松江が開府して以来、松江藩を支える家老達の広大な屋敷となっていた。この地区からは松江城天守閣、城山や堀川の内濠が望め、これらが一体となって良好な景観を成している。また、松江城天守閣や堀川遊覧船から見える地区でもあるため、歴史的様式を持った塀の保存、当該地区の建築物の屋根や壁の統一を行うなどの配慮が必要である。この地区は城山内濠地区として平成11（1999）年に松江市伝統美観保存地区に指定され、電線類の地中化などの事業が行われた。

出典：松江市景観計画

[付属資料]

②伝統美観保存区域

松江市における往時の政治、経済及び文化の中心として歴史上の意義を有する建造物、遺跡等で形成された町並み景観や、周囲の自然的環境と一体を成して伝統と文化を具現、形成している歴史的・自然的景観を有する区域で、①塩見縄手地区、②普門院外濠地区、③城山内濠地区の3地区が指定されている。

表 5-5 伝統美観保存区域の概要

名称	概要
①塩見縄手地区 	塩見縄手は、もと亀田山（現城山）の北側にあり、築城工事の際、この部分の丘陵を掘り下げて内堀を造った時に、北側の山裾に道をつけ武家屋敷を配置したところである。寛永15（1638）年、堀尾氏、京極氏の後をうけて松平氏が松江城主となって以来、塩見氏という老職がここに居（現在の武家屋敷）を構えた地区である。このあたり一帯は、番頭、小姓、奉行などの武家屋敷が軒を連ねていた。松江市では昭和48（1973）年に松江市伝統美観保存条例を制定すると同時に、塩見縄手地区を第1次保存指定地区に指定。門、塀の復元、堀沿いの松の移植・補植、電線類の地中化工事などが行われてきた。今その面影は老松のあいだに静かなたたずまいを見せる武家屋敷の塀、内濠に投影する姿と、幾百年の歴史に裏付けされた重みをたたえている。また、四季を通じて変容する景観は美しく、武家屋敷、小泉八雲旧居及び記念館、田部美術館などが観光施設として立ち並び、塩見縄手沿いの堀川は堀川遊覧船の周遊ルートであるなど、重要な観光資源として松江市の個性と格式の高さを形成している代表的な景観のひとつである。
②普門院外濠地区 	普門院は、県文化財建造物の指定を受けるなど、この地区の景観形成上中心的役割を果たす重要な景観資源である。宗派は天台宗で、堀尾氏累代の祈願寺（旧市成村・現西川津町）であったが、一度寺町に移るも火災で消失、その後松平家三代綱近の時、現在地に建立された。山門を入ると芭蕉堂や三斎流の茶室観月庵が並びた佇まいをみせ、木々の緑や碑石が古い文化の面影を残す名刹である。普門院の境内地は堀川に囲まれた三角洲の中にあり、堀をへだてて松江城や北堀橋を望むことができる。また、普門院から見える堀川の川岸は、石積み護岸や木々の緑で城下町らしい落ち着いた景観を成している。昭和50（1975）年に、普門院周辺から宇賀橋までの堀川に面する両側の道路一帯が、普門院外濠地区として松江市伝統美観保存地区に指定され、普門院の塀の修理、松の補植、普門院堀の修理が行われた。
③城山内濠地区 	本地区は松江城の内濠を隔てた東側にあり、江戸時代の初めに松江が開府して以来、松江藩を支える家老達の広大な屋敷となっていた。この地区からは松江城天守閣、城山や堀川の内濠が望め、これらが一体となって良好な景観を成している。また、松江城天守閣や堀川遊覧船から見える地区でもあるため、歴史的様式を持った塀の保存、当該地区の建築物の屋根や壁の統一を行うなどの配慮が必要である。この地区は城山内濠地区として平成11（1999）年に松江市伝統美観保存地区に指定され、電線類の地中化などの事業が行われた。

出典：松江市景観計画

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]

③北堀町景観形成区域

北堀町は、江戸時代初期の古図にも、「北堀」という地名が明示され、江戸時代には松江藩の中級藩士が居住する武家屋敷が配置されていたが、北堀橋、新橋付近の堀川沿いの一部は、城出入りの御用商人の町屋が並び、また、付近の丘陵の要所には寺社が配置されるなど、城下町防備の役割が与えられていた。道路の配置や宅地割りは当時のものとほとんど変わらず、城下町松江の中でも「城下町らしさ」を色濃く残している地域である。現在も家屋の敷地は比較的広く、木造建築で和瓦屋根が多く、城下町松江の歴史と伝統を感じさせる景観が残されており、比較的良好な住宅地となっている。北堀町景観形成区域の範囲は、松江市北堀町全域と奥谷町の一部である。（ただし、伝統美観保存区域を除く。）



図5-5 北堀らしい景観

出典：松江市景観計画

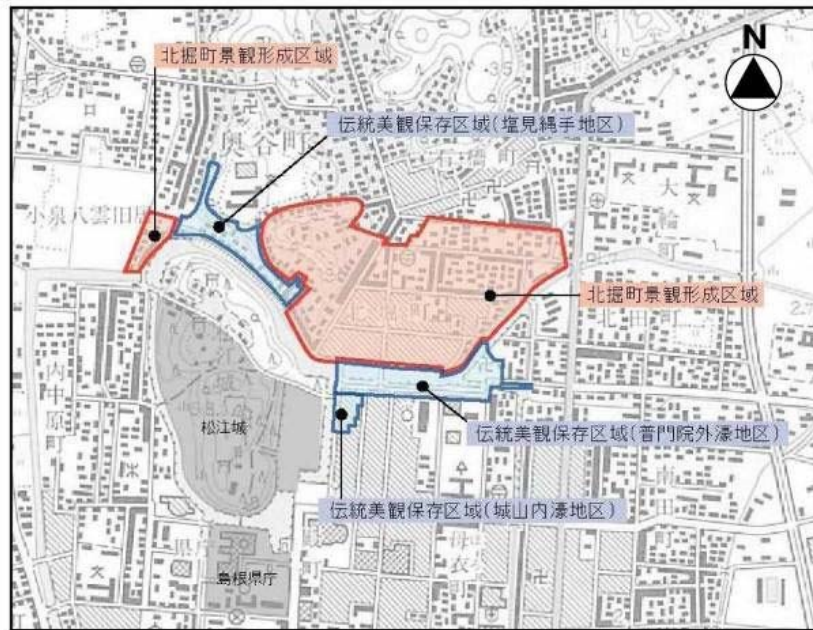


図5-6 伝統美観保存区域と北堀町景観形成区域

出典：松江市景観計画

[付属資料]

③北堀町景観形成区域

北堀町は、江戸時代初期の古図にも、「北堀」という地名が明示され、江戸時代には松江藩の中級藩士が居住する武家屋敷が配置されていたが、北堀橋、新橋付近の堀川沿いの一部は、城出入りの御用商人の町屋が並び、また、付近の丘陵の要所には寺社が配置されるなど、城下町防備の役割が与えられていた。道路の配置や宅地割りは当時のものとほとんど変わらず、城下町松江の中でも「城下町らしさ」を色濃く残している地域である。現在も家屋の敷地は比較的広く、木造建築で和瓦屋根が多く、城下町松江の歴史と伝統を感じさせる景観が残されており、比較的良好な住宅地となっている。北堀町景観形成区域の範囲は、松江市北堀町全域と奥谷町の一部である。（ただし、伝統美観保存区域を除く。）



図5-5 北堀らしい景観

出典：松江市景観計画

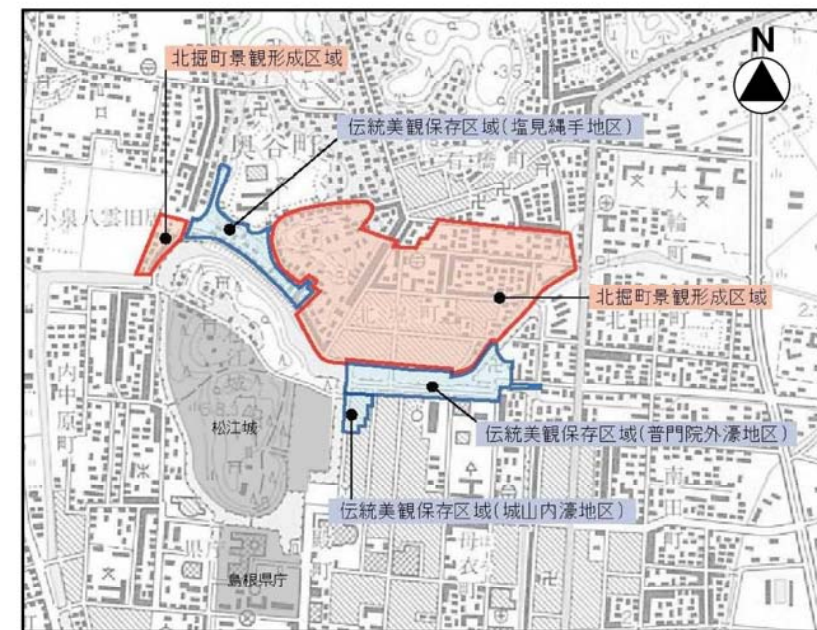


図5-6 伝統美観保存区域と北堀町景観形成区域

出典：松江市景観計画

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

該当なし

【付属資料】

（3）大橋川景観形成計画（案）

大橋川からは、東には大山、西には夕日、南には嫁ヶ島、北には松江城が眺望でき、沿川においては川を舞台に営まれてきた伝統行事や四季折々に愛でてきた景観があり、歴史とともに培われてきた川とまちとの良好な関係が今なお息づいている。

治水事業としての大橋川改修を契機として、松江市の骨格となる河川景観軸である大橋川について、河川としての水面・水際の連続性を保ちつつ、それぞれの地域が持つ景観特性を活かして良好な景観形成を行い、水の都松江にふさわしい大橋川の良好な景観を保全・創造・継承していくこととしている。

「大橋川景観形成計画」においては、対象区間を宍道湖大橋から中海大橋とし、景観特性を踏まえ、大きく3つのゾーンに区分して整備の基本方針を定め、さらに詳細な8区間に分割し、それぞれについて景観整備目標、景観形成基準を設定している。

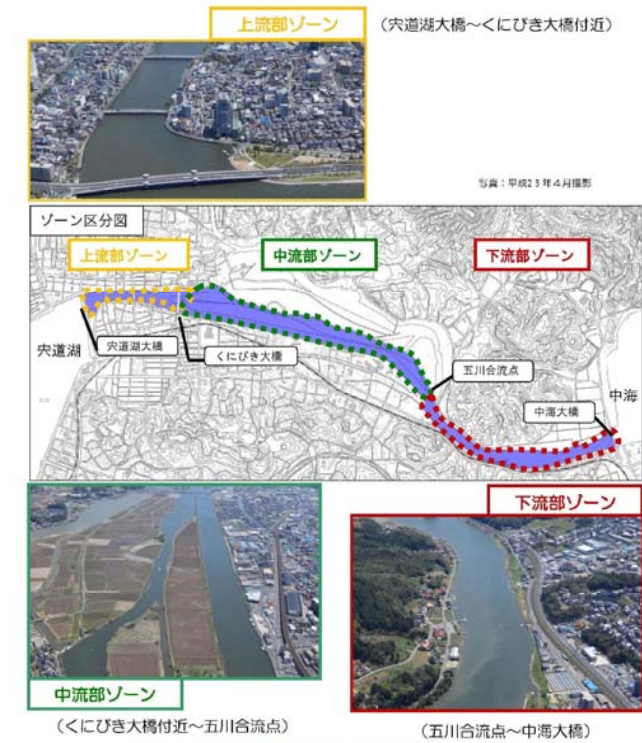


図5-7 大橋川景観形成計画（案）におけるゾーニング

出典：大橋川景観形成計画（案）

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

該当なし

[付属資料]

表 5-6 各ゾーン・区分における景観形成に関する基本方針と景観整備目標

ゾーン	景観形成に関する基本方針	区間	景観整備目標
上流部	<ul style="list-style-type: none"> 小泉八雲の愛した「日本の面影」・静けさを有する空間と、人々が集い・行き交う賑わいの空間が調和した新たな時代にふさわしい景観形成を行う。 松江大橋や柳並木周辺の風情に配慮した景観形成を行う。 国際文化観光都市にふさわしい優れた視点場の保全と創出を行う。 水と人、川とまちの近さを活かした景観形成を行う。 	北岸（左岸） 宍道湖大橋～新大橋	柳並木や背後のまちなみ、現状の石積み護岸などの風情に配慮しつつ、穏やかな水音を楽しみ、水底を見ることができる景観整備
		北岸（左岸） 新大橋～くにびき大橋付近	背後のまちなみや現状の石積み護岸、生活の佇まいなどの風情に配慮しつつ、現状の水面等を見ることができる景観整備
		南岸（右岸） 宍道湖大橋～新大橋	人と水、人とまちとのかわりや緑豊かな現状の風情を活かしつつ、国際文化観光都市松江の魅力をさらに引き立たせ、活気あふれる景観整備
中流部	<ul style="list-style-type: none"> 川や水路、湿地（湿性池）などが織りなす水と緑の自然豊かな水郷の景観を活かした景観形成を行う。 人々の生活と川とのかわりに配慮した景観形成を行う。 嵩山、和久羅山などを望む広がりのある、のびやかな景観を保全する。 	北岸（左岸） くにびき大橋付近～五川合流点	背後の広がりのある景観、川や湿地、水際植生などの自然豊かな水郷としての風情を活かした景観整備
		南岸（右岸） くにびき大橋付近～五川合流点	背後に住む人と水とのかわりや、のびやかで様々な表情を見ることができる自然風景、水辺で楽しめるような景観整備
下流部	<ul style="list-style-type: none"> 古代より受け継がれてきた地域の歴史・文化を学び、敬い、後世へ伝えていけるような景観形成を行う。 人々の生活と川とのかわりに配慮した景観形成を行う。 	北岸（左岸） 五川合流点～中海大橋	古代からの歴史、人々の生活や佇まい、水際から背後までの連続した自然に配慮した景観整備
		南岸（右岸） 五川合流点～中海大橋	人々の生活や佇まい、水とのかわりに配慮しつつ、安らぎと楽しみを満喫できる景観整備

表 5-7 区分別の景観形成基準

区間		景観形成基準
全区間共通事項		<ul style="list-style-type: none"> 現状の動線、眺望場所の保全に努めること 区間内の景観に変化を持たせよう、部分的に自然石を使用するなど工夫に努めること
上流部	北岸 区間① 宍道湖大橋～新大橋	<ul style="list-style-type: none"> 護岸は石積み基本とすること 浅場の水際景観の保全に配慮すること 現状の柳並木の保全に努めること
	北岸 区間② 新大橋～くにびき大橋	<ul style="list-style-type: none"> 護岸は石積み基本とすること 浅場の水際景観の保全に配慮すること
	南岸 区間③ 宍道湖大橋～新大橋	<ul style="list-style-type: none"> 現状の水際景観の保全に配慮すること 北岸との景観的調和をはかること 人が憩い・集う空間の創出に努めること
	南岸 区間④ 新大橋～くにびき大橋	<ul style="list-style-type: none"> 現状の樹木の保全に努めること 現状の水際景観の保全に配慮すること 緑豊かな空間の創出に努めること
中流部	北岸 区間⑤ くにびき大橋～五川合流点	<ul style="list-style-type: none"> 親水空間のある水辺づくりに配慮すること 水際植生の保全に努めること 背後地からの川への連続的な自然景観の創出に配慮すること
	南岸 区間⑥ くにびき大橋～五川合流点	<ul style="list-style-type: none"> 水際植生の保全に努めること 魚釣り、散策に配慮した河岸づくりに努めること
下流部	北岸 区間⑦ 五川合流点～中海大橋	<ul style="list-style-type: none"> 自然景観の保全に配慮すること
	南岸 区間⑧ 五川合流点～中海大橋	<ul style="list-style-type: none"> 水際植生の保全に努めること 親水空間のある水辺づくりに配慮すること

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]

5.4 観光

当圏域の行政区である松江市には、松江城、小泉八雲記念館、武家屋敷、島根県立美術館等の歴史・文化施設や、松江しんじ湖温泉（旧松江温泉）等の温泉施設など、豊富な観光資源が存在し、平成 9 年から就航した松江堀川をめぐる「ぐるっと松江堀川めぐり」などは特に人気を博している。観光客数の推移をみると、近年 5 ヶ年では増加を続けており、平成 20 年では 885 万 9,017 人／年となっている。

松江市は、昭和 26 年 3 月に「国際観光文化都市」、昭和 62 年 10 月に「松江・出雲国際観光モデル地区」、平成 6 年 10 月に「国際会議観光都市」に指定され、貴重な資産を大切に後世に引き継ぐとともに磨き上げ、更に新しい観光事業の推進を目指している。

また、2011 年は松江城の築城完成 400 年にあたり、松江市では、2007 年から築城完成 400 年にあたる 2011 年までの 5 年間にわたって、様々な仕掛け、イベントを開催し、“ひとづくり”“まちづくり”を進めるとともに、期間中に「観光入込み客数 1,000 万人」を達成することを目指している。

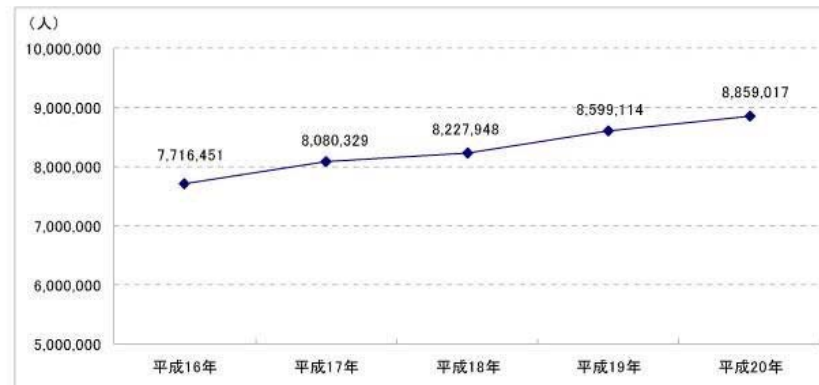


図5-7 観光客数（松江市）の推移 出典：島根県観光動態調査結果

[付属資料]

5.4 観光

当圏域の行政区である松江市には、松江城、小泉八雲記念館、武家屋敷、島根県立美術館等の歴史・文化施設や、松江しんじ湖温泉（旧松江温泉）等の温泉施設など、豊富な観光資源が存在し、平成 9 年から就航した松江堀川をめぐる「ぐるっと松江堀川めぐり」などは特に人気を博している。観光客数の推移をみると、平成 21 年の 887 万 4,127 人／年をピークに減少傾向となり、平成 23 年には 838 万 6,621 人／年となっている。

松江市は、昭和 26 年 3 月に「国際観光文化都市」、昭和 62 年 10 月に「松江・出雲国際観光モデル地区」、平成 6 年 10 月に「国際会議観光都市」に指定され、貴重な資産を大切に後世に引き継ぐとともに磨き上げ、更に新しい観光事業の推進を目指している。

また、2011 年は松江城の築城完成 400 年にあたり、松江市では、2007 年から築城完成 400 年にあたる 2011 年までの 5 年間にわたって、様々な仕掛け、イベントを開催し、“ひとづくり”“まちづくり”を進めるとともに、期間中に「観光入込み客数 1,000 万人」を達成することを目指している。

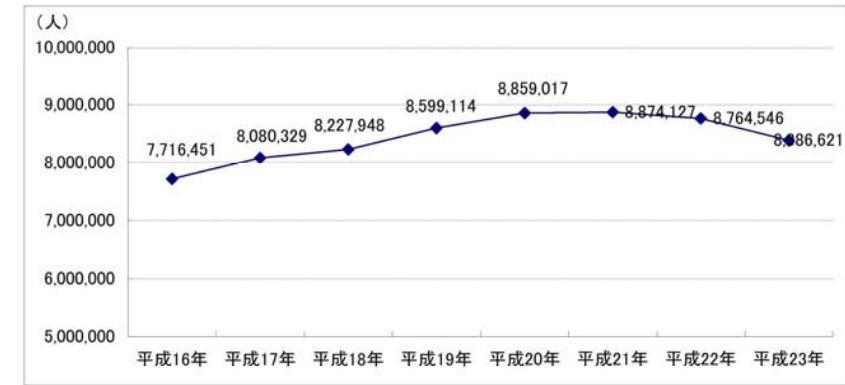


図5-8 観光客数（松江市）の推移 出典：島根県観光動態調査結果

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]

表 5-6 圏域内の主な観光客数の推移

単位：人

名称	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年
宍道湖遊覧船	21,959	25,732	23,681	21,339	33,007
松江城	224,527	213,088	209,586	244,596	273,751
松江城山公園	253,189	240,290	236,340	275,815	308,697
小泉八雲記念館	143,213	136,019	129,875	129,898	132,202
武家屋敷	115,474	107,036	109,545	112,051	117,737
八雲立つ風土記の丘	11,696	12,222	10,353	8,625	13,902
ガイダンス山代の郷	8,132	10,512	8,159	10,414	11,641
かんべの里	27,010	21,739	32,163	50,642	49,061
松江しんじ湖温泉	228,047	206,393	200,080	218,580	222,130
ぐるっと松江レイクライン	136,663	141,843	151,900	170,704	176,495
ぐるっと松江堀川めぐり	325,151	314,004	315,160	336,146	349,097
松江・堀川地ビール館	228,073	205,221	192,403	202,529	209,940
秋鹿なぎさ公園	26,393	36,660	37,143	35,850	41,839
島根県立美術館	247,455	215,314	283,120	229,758	285,344
カラコロ工房	287,835	275,838	290,465	364,719	406,112
松江イングリッシュガーデン (ティファニー庭園美術館)	154,066	151,969	126,269	192,246	158,265
松江フォアゲルパーク	190,317	249,618	204,384	178,353	200,645
松江郷土館	81,877	76,096	85,360	65,678	63,834
明々庵	13,188	11,585	10,150	11,090	11,290
普門院	1,879	1,299	944	995	926
月照寺	30,287	24,339	23,193	22,166	22,892
田部美術館	10,868	7,467	7,836	6,927	7,266
島根県物産観光館	141,099	138,062	132,675	132,518	132,925
八重垣神社	185,912	176,696	211,878	253,923	238,519
古浦海水浴場	32,540	27,256	17,200	17,600	19,200
鹿島多久の湯	186,608	195,425	208,577	212,345	213,862

出典：島根県観光動態調査結果

付・27

[付属資料]

表 5-8 圏域内の主な観光客数の推移

単位：人

名称	平成 16 年	平成 17 年	平成 18 年	平成 19 年	平成 20 年	平成 21 年	平成 22 年	平成 23 年
宍道湖遊覧船	21,959	25,732	23,681	21,339	33,007	21,247	24,530	19,125
松江城	224,527	213,088	209,586	244,596	273,751	280,768	281,769	296,842
松江城山公園	253,189	240,290	236,340	275,815	308,697	316,612	317,740	333,947
小泉八雲記念館	143,213	136,019	129,875	129,898	132,202	118,330	108,746	88,481
武家屋敷	115,474	107,036	109,545	112,051	117,737	109,394	101,591	83,732
八雲立つ風土記の丘	11,696	12,222	10,353	8,625	13,902	15,650	16,143	15,385
ガイダンス山代の郷	8,132	10,512	8,159	10,414	11,641	12,386	12,281	7,993
かんべの里	27,010	21,739	32,163	50,642	49,061	50,991	47,661	45,158
松江しんじ湖温泉	228,047	206,393	200,080	218,580	222,130	198,028	208,086	189,570
ぐるっと松江レイクライン	136,663	141,843	151,900	170,704	176,495	143,177	134,916	123,086
ぐるっと松江堀川めぐり	325,151	314,004	315,160	336,146	349,097	327,306	307,544	285,888
松江・堀川地ビール館	228,073	205,221	192,403	202,529	209,940	184,086	169,817	153,162
秋鹿なぎさ公園	26,393	36,660	37,143	35,850	41,839	41,060	37,947	6,526
島根県立美術館	247,455	215,314	283,120	229,758	285,344	351,736	273,957	236,060
カラコロ工房	287,835	275,838	290,465	364,719	406,112	404,859	369,083	379,847
松江イングリッシュガーデン (ティファニー庭園美術館)	154,066	151,969	126,269	192,246	158,265	219,140	232,259	226,602
松江フォアゲルパーク	190,317	249,618	204,384	178,353	200,645	191,659	167,481	146,677
松江郷土館	81,877	76,096	85,360	65,678	63,834	65,443	72,845	5,958
明々庵	13,188	11,585	10,150	11,090	11,290	9,832	8,152	7,967
普門院	1,879	1,299	944	995	926	-	2,563	1,261
月照寺	30,287	24,339	23,193	22,166	22,892	21,672	19,280	14,949
田部美術館	10,868	7,467	7,836	6,927	7,266	6,656	6,113	5,033
島根県物産観光館	141,099	138,062	132,675	132,518	132,925	148,043	156,139	175,296
八重垣神社	185,912	176,696	211,878	253,923	238,519	231,395	312,717	285,808
古浦海水浴場	32,540	27,256	17,200	17,600	19,200	9,100	17,500	13,500
鹿島多久の湯	186,608	195,425	208,577	212,345	213,862	218,139	217,079	213,178

出典：島根県観光動態調査結果

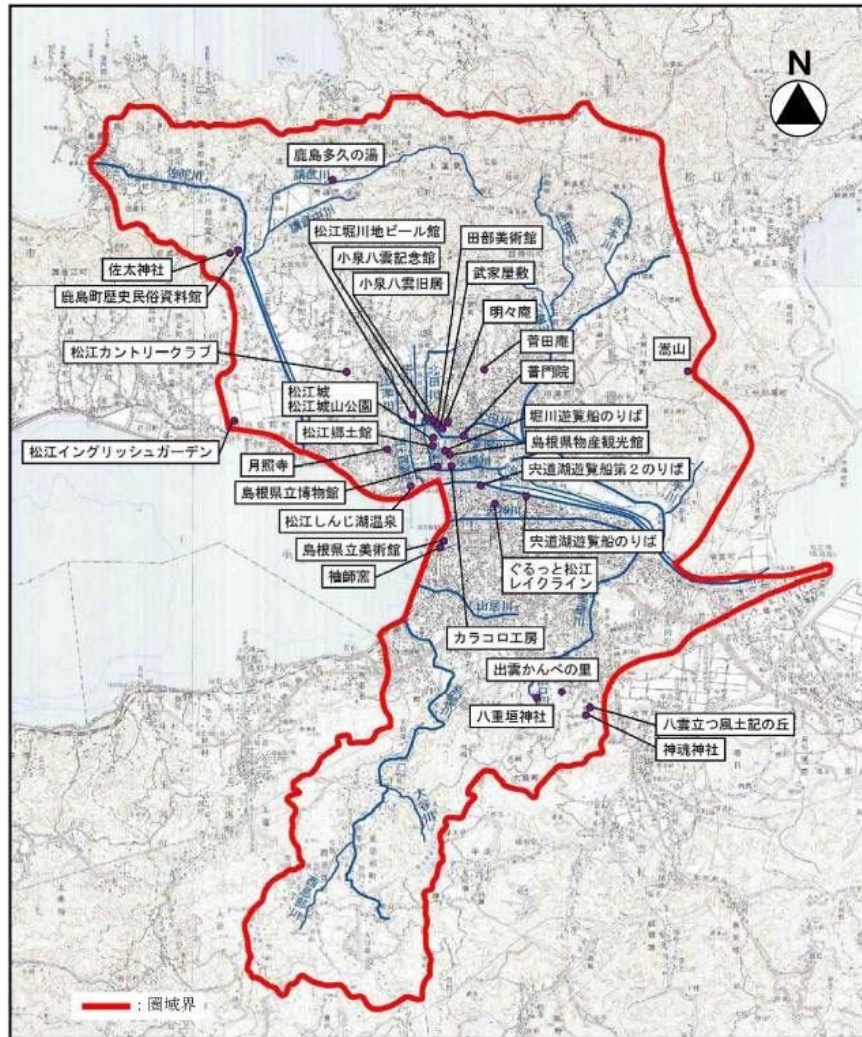
付・29

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画（付属資料）変更（素案）の対比表

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料 平成 22 年 8 月

斐伊川水系宍道湖東域河川整備計画 付属資料（変更案）

[付属資料]



松江城山公園



松江堀川



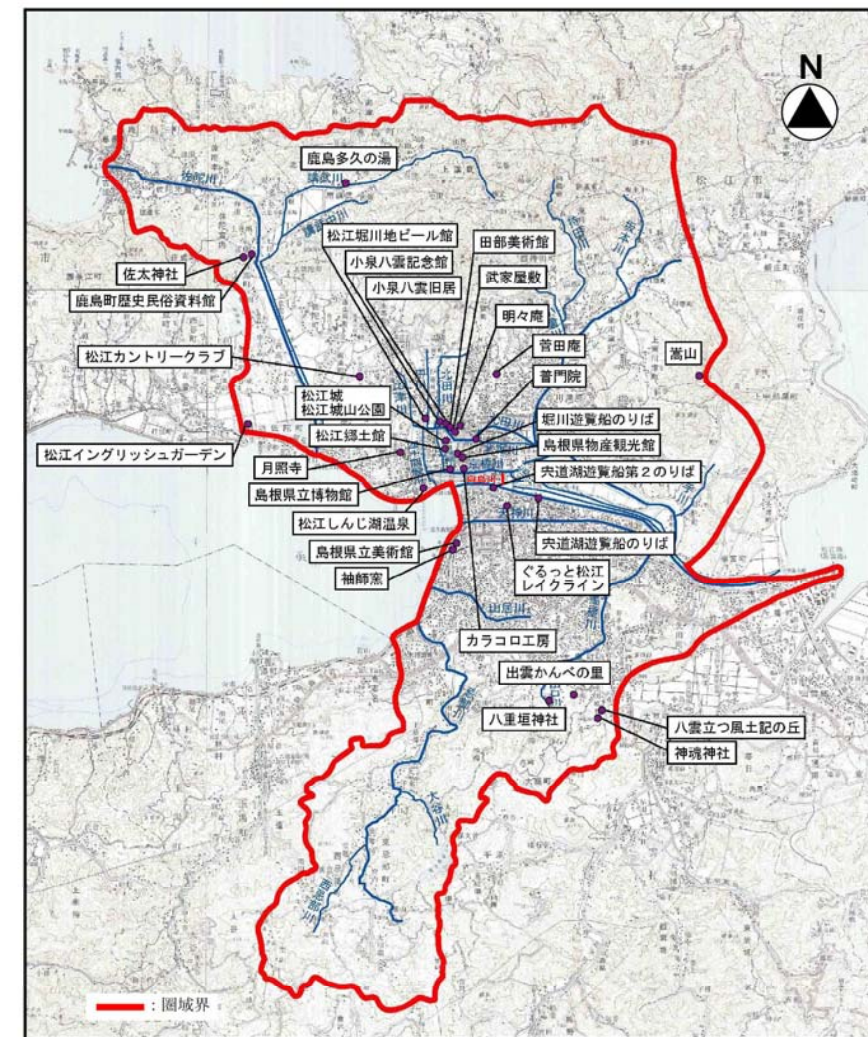
カラコロ工房

図5-8 主要な観光地位置図

出典：しまね観光ナビ

付・28

[付属資料]



松江城山公園



松江堀川



カラコロ工房

図5-9 主要な観光地位置図

出典：しまね観光ナビ

付・30